

国際協力ニュース：英国の EU 離脱と対中武器輸出

漢和防務評論 20161002 (抄訳)

阿部信行

(訳者コメント)

英国の EU 離脱に伴って、法的拘束が外れ、英国は対中武器輸出を始めるのではないかという予測に対して、英国軍事装備集団の消息筋は否定しています。また EU の軍事工業界の消息筋は、光学技術やレーダー技術等の軍民両用技術は適用外であるが、英国には対中輸出の実績がない、と述べています。我が国としては無関心ではられない状況です。

KDR ロンドン、ファンボロウ特電：

この間、多くの英国軍事装備グループ会社の消息筋は、次のように予測している：英国は、EU を離脱しても、すでに 30 年間にわたって EU 及び米国に存在してきた対中武器技術禁止規定を遵守することになるであろう、と。

EU は、1989 年の天安門事件後、法により中国への武器装備の輸出を禁止している。

英国の多くの軍事装備グループ会社の消息筋は：中国は、伝統的に英国の重要な武器輸出市場ではなかった、と述べた。KDR の統計によれば、英国は、1980 年代、中国に SPAY 202 型航空機エンジンと生産技術の一部を輸出した。このエンジンは、JH-7A 戦闘爆撃機に搭載されている。このほか英国は、1980 年代に J-7 戦闘機のアビオニクスを改良を支援し、若干の航空機搭載用の対海捜索レーダーを輸出した。同時期のイスラエル、フランス及びイタリアとの中国の軍事協力の規模は、英国よりもやや大きかった。

英国ロールスロイスが 1989 年以降も、依然として中国に SPAY 202 エンジンとその部品を提供しているからといって、EU 離脱後、英国は、中国へ、例えば軍用機エンジンの輸出を始める可能性はあるか？

この問題について、ロールスロイス会社の消息筋は KDR に対し次のように述べた：同社は、EU の禁輸規定を厳格に守る。SPAY 202 エンジンは 1970 年代に生産停止され、一部の部品とエンジンは中古品である。協議に基づいて中国に売却されている。ロールスロイスは、中国に輸出したエンジンの改良作業には参加していない、と。

欧州軍事工業会の消息筋は **KDR** に対し：この対中禁輸規定は、某種の軍民両用技術は該当しない。例えば、光學技術、レーダー技術等である。そうであっても 1989 年以降、中国は、英国から類似装置を輸入していない、と述べた。

英国は、**EU** 離脱後も依然として米国からの強大な政治圧力を受け、中国で軍事装備市場を開拓することは不可能である、と **KDR** は考える。特に航空領域では。

以上